

# TOTO

## 洗面所用シングルレバー混合栓



TL489EF型  
TL489EFZ型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



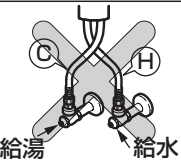


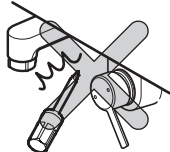
### 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)





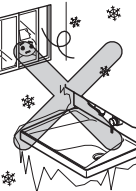

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 <b>禁止</b>	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 <b>必ず実行</b>	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 <b>警告</b>		
 <b>禁止</b>	<b>湯水を逆に配管しない</b> 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	<b>給湯温度は85℃より高温で使用しない</b> 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
 <b>分解禁止</b>	<b>この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない</b> 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

 <b>注意</b>		
 <b>禁止</b>	<b>強い力や衝撃を与えない</b> 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
 <b>必ず実行</b>	<b>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く</b> また、寒冷地用の場合は、「 <b>10</b> 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>必ず止水栓にて流量を調節する</b> 配管の給水圧が高いと水が勢い良く出すぎて、ご使用の際、水はねする場合があります。「 <b>9</b> 点検項目」の「流量、吐水状態、吐水温度の確認」を参照し、調節してください。	

## 2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅洗面所用

## 3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 湯ぼつと（TOTO製洗面所用電気温水器）と組み合わせる場合は、電気温水器入口への最低給水圧力が0.1MPa以上必要です。給水圧力が低いと吐水量が不足し、水の勢いが十分に得られません。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 瞬間式給湯機の場合、給湯機的能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 止水栓を取り付けたあと、給水・給湯管内のごみを完全に洗い流してください。内部にごみが詰まり、吐水量が少なくなったり、吐水が乱れたりすることがあります。

# 4

## 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓パネルユニット部		
<p>水栓パネル スパウト ハンドシャワー レバーハンドル 給湯ホース 給水ホース 袋ナット パッキン (紛失注意)</p>		
<p>木ねじ (φ4.5×80) (2本) ※パッキンは袋ナットの中にあります。</p>		
ソケット部	その他	
<p><b>一般地用</b></p> <p>ソケット (パッキン付き) (逆止弁付き)</p>	<p><b>寒冷地用</b></p> <p>水抜栓注意札 (寒冷地用のみ) ソケット (水抜コック付き) (逆止弁付き)</p>	<p>施工説明書</p> <p>必ずお客様にお渡しください</p> <p>吐水口網 開閉工具 取扱説明書</p>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

# 5

## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

一般地用 ※ ( ) 寸法は600サイズの場合 (単位: mm)

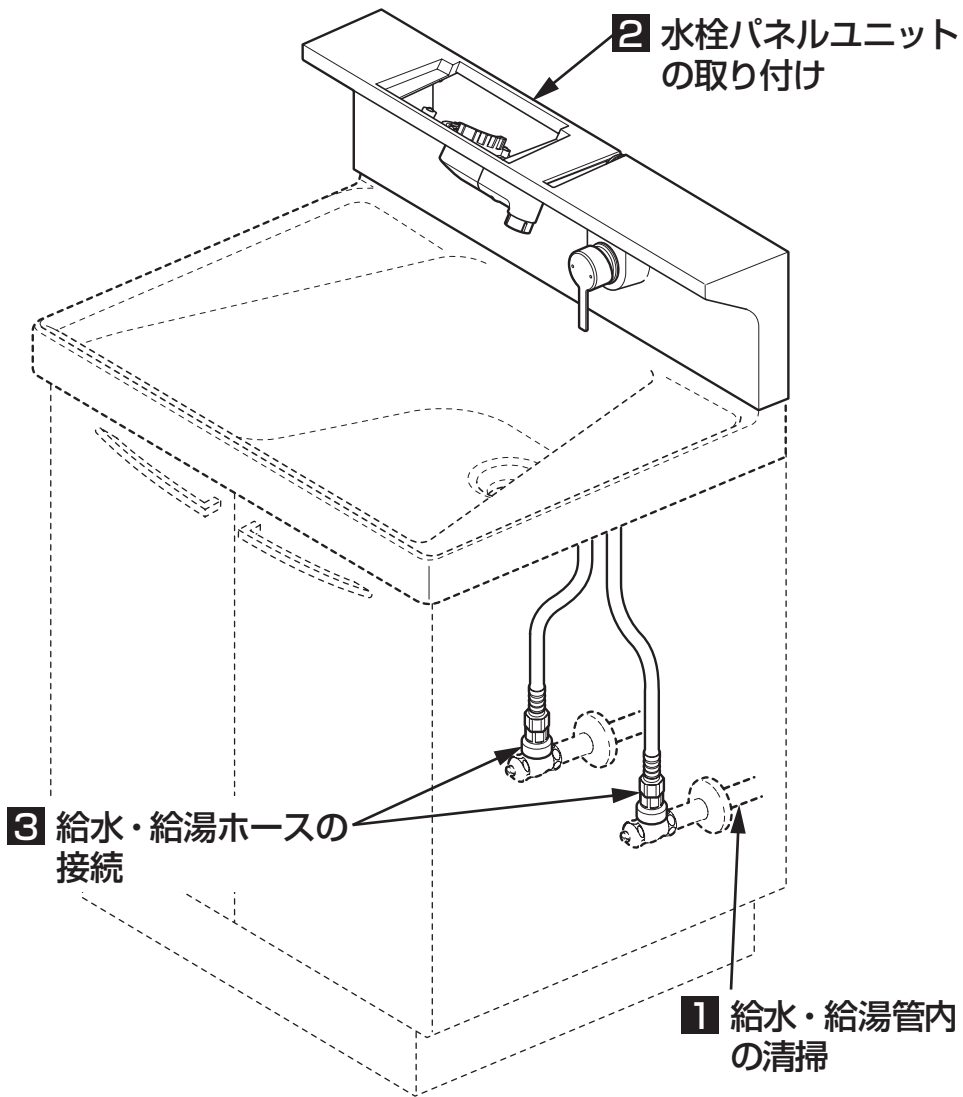
750サイズ: ハンドシャワー 引き出し長さ400, 90°回転

600サイズ: ハンドシャワー 引き出し長さ400, 60°回転

Dimensions: 125, 61(31), 747(597), 625(535), 260, 61(31), 34, 210(200), 201, 168, 30°, 123, 153, ホース先端まで670 (650)

寒冷地用: G1/2 (テーパおねじ接続不可)

# 6-1 施工手順



## 1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

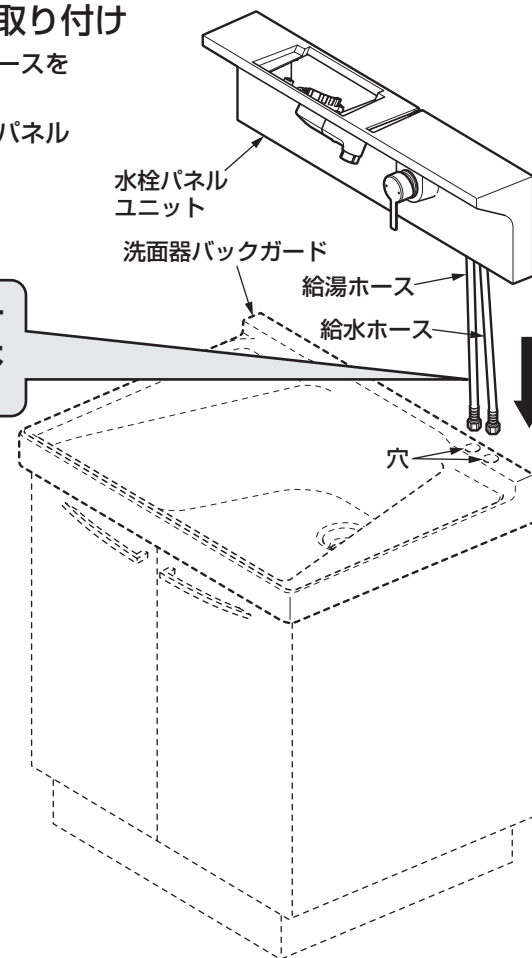
**重要**

## 2-1 水栓パネルユニットの取り付け

- ①洗面器上面の穴に給水・給湯ホースを通す。
- ②洗面器バックガードの上に水栓パネルユニットを載せる。

### 注意

給水・給湯ホースを穴に通すときにホースを傷つけないように注意してください。



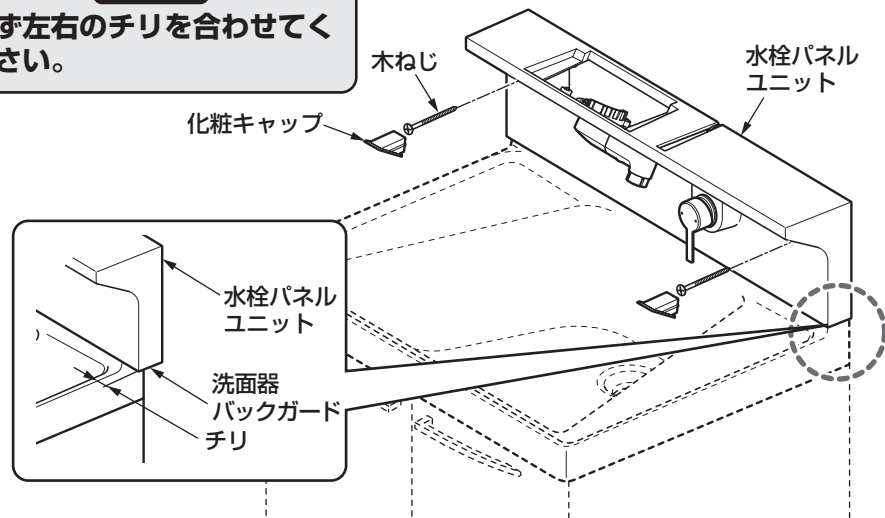
裏面へつづく

## 2-2 水栓パネルユニットの取り付け(つづき)

- ③水栓パネルの化粧キャップ2カ所を外す。  
(化粧キャップ下側の凹に爪を引っかけて手前に引き出す)
- ④水栓パネルユニットを木ねじで2カ所壁固定する。
- ⑤化粧キャップでフタをする。

### 注意

必ず左右のチリを合わせてください。

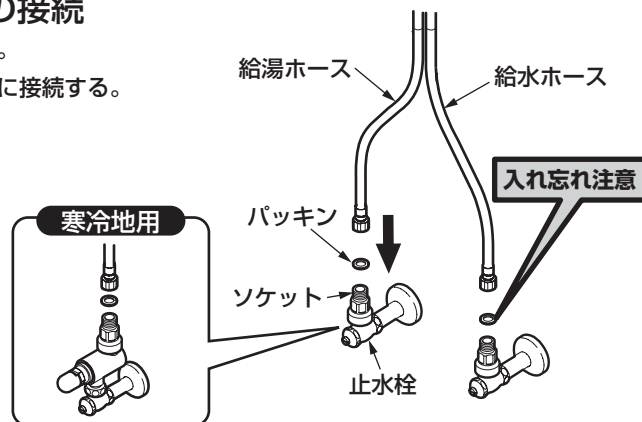


## 3 給水・給湯ホースの接続

- ①ソケットを止水栓に固定する。
- ②給水・給湯ホースをソケットに接続する。

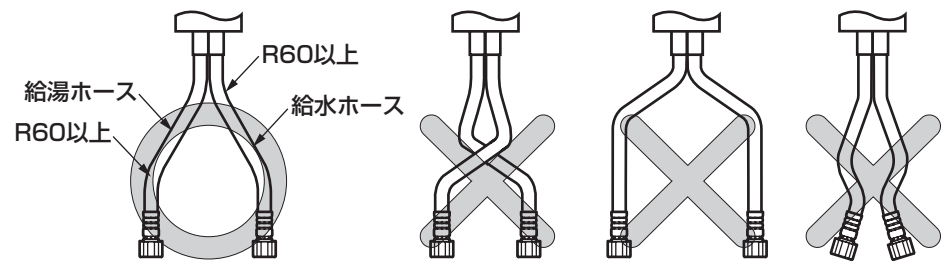
### 注意

給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。



## 給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

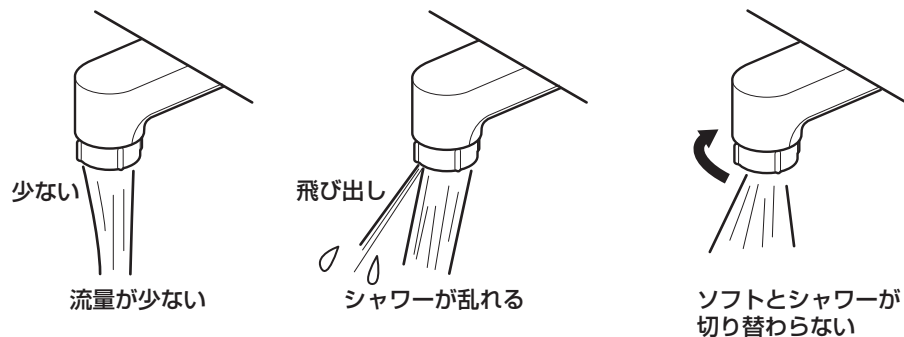


## 7

## 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、故障ではありません。お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
流水音が大きいと感じる。	水圧が高いことや使用流量が多いことにより発生することが考えられます。流量を絞ることで流水音を低減できます。
使いはじめに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。
ハンドシャワーの引き出し操作が重く感じる。	ハンドシャワーをばねで引っ張っているため、引き出していくと重くなりますが故障ではありません。



建築配管内のごみによるものです。  
下記要領にてお手入れをしてください。

## 吐水口のお手入れ

### フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

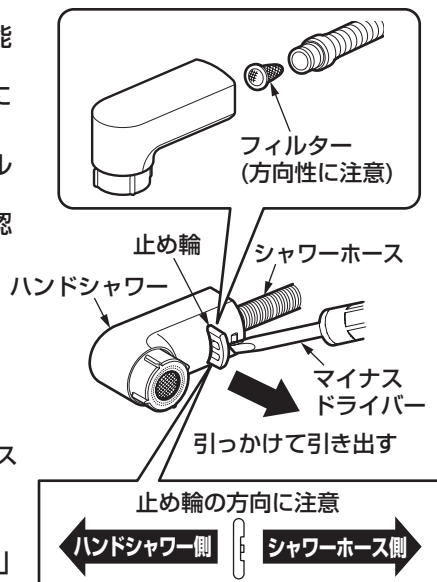
※フィルターを掃除する際は、レバーハンドルを閉めてから行ってください。また、シャワーホースが熱くないことを確認してください。

- ① 止め輪を取り外す。
- ② シャワーホースを引き抜く。

ハンドシャワー内部に設けているストッパーを乗り越えるため重く感じます。

- ③ フィルターを外し掃除したあと、シャワーホース内に水を流してゴミを取る。
- ④ フィルターを元に戻す。

(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



## 切替部のお手入れ



部品を紛失しないように、あらかじめ洗面器などに水をためてから洗ってください。

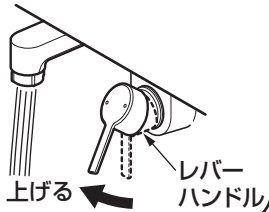
1. 切替部を左側いっぱい回した状態（ソフト吐水）にする。
2. 付属の吐水口網開閉工具を吐水口網の切り欠きに差し込み、回して外す。
3. 吐水口網に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。
4. プラスドライバーで固定ねじをゆるめて切替部を外す。  
切替部を外した状態で水を出さないでください。水が飛び散るおそれがあります。
5. 切替部の小穴に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。
6. 掃除が終わったら、切替部をハンドシャワー先端に組み付ける。  
異常な吐水にならないように、固定ねじは適度に締めてください。
7. 吐水口網を取り付ける。

取り付け完了後、水を出し、接続部から水漏れがないか確認してください。

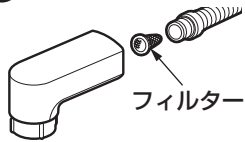
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

### 水出し確認

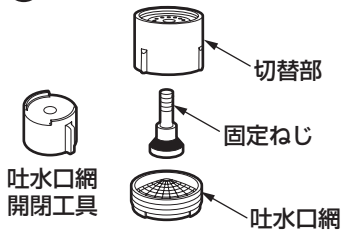
取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



### 5 フィルターを掃除

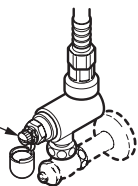


### 5 吐水口・切替部



### 寒冷地用

### 2 水抜きコック (寒冷地用)

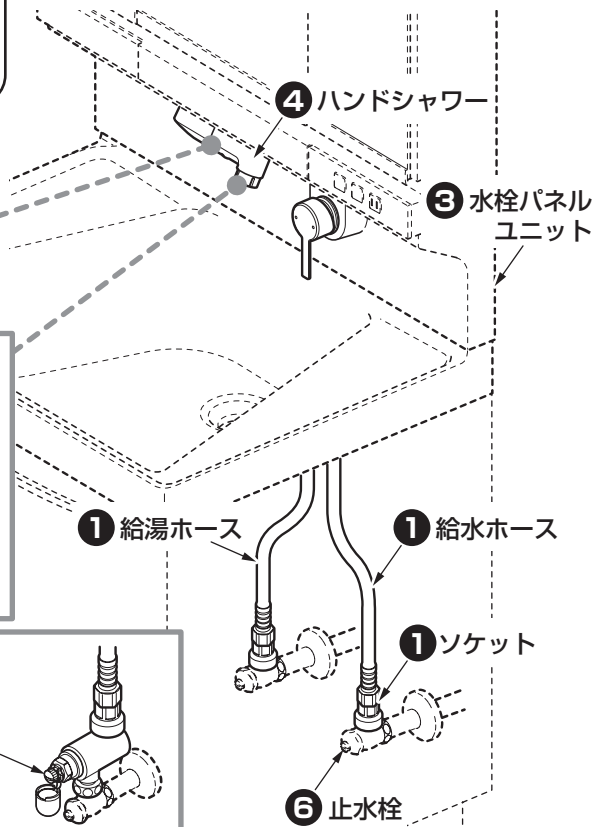


### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

### 3 水栓パネルユニットは固定されていますか？

↳ 6-1 - 2 「水栓パネルユニットの取り付け」参照



### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

### 1 給水・給湯ホースはソケットにしっかり取り付けられていますか？

↳ 6-2 - 3 「給水・給湯ホースの接続」参照

### 寒冷地用の場合

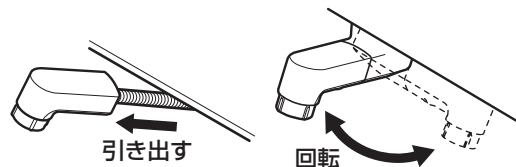
### 2 水抜コックはしっかり閉まっていますか？ また、キャップはセットされていますか？

↳ 水抜コックを閉める。  
キャップをセットする。



### 動作確認

4 ハンドシャワーがスムーズに引き出せるか、またスパウトがスムーズに回転できるか確認してください。  
※ハンドシャワーの引き出し機構にはばねを使用していますので、引き出し長さに比例して少し重くなります。

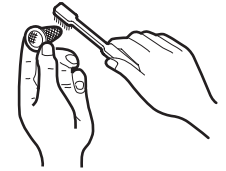


### 流量、吐水状態、吐水温度の確認

流量が少ないときや、吐水状態が悪いときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

### 5 フィルター・吐水口のごみ詰まりはないですか？

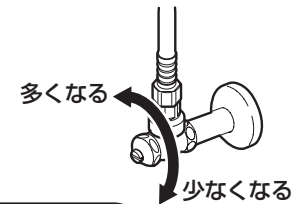
↳ フィルターの掃除をする。



### 8 フィルターの掃除参照

### 6 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。



### 最適流量の目安

- 8Lバケツの場合 : 約1分10秒で満水
- 洗面ボウルの場合 : 約2分30秒で満水 (オーバーフロー)

※レバーハンドルを中央位置で上げ、全開にして、最適流量6~7L/分程度になるように止水栓で調節してください。

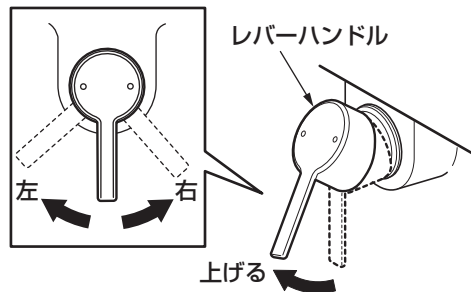
# 10

## 寒冷地用の水抜き方法

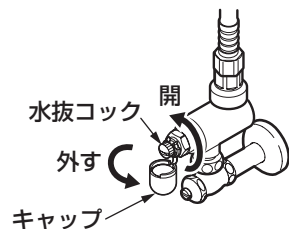
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいください。  
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部水抜栓などにより通水を止めて水抜きを行う。

2. レバーハンドルを上げ、右側いっぱい回す。



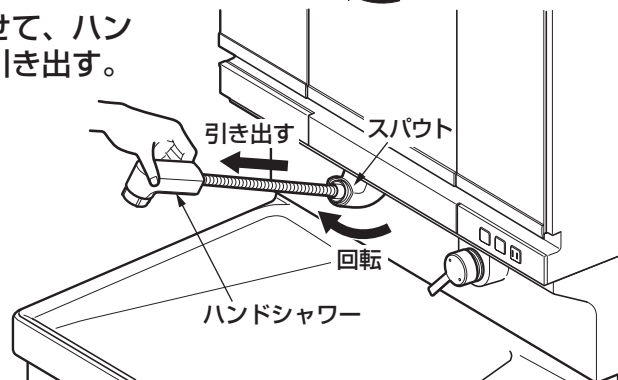
3. 水抜コックのキャップを外し、水抜コックを反時計回りに止まるまで回す。(2カ所)



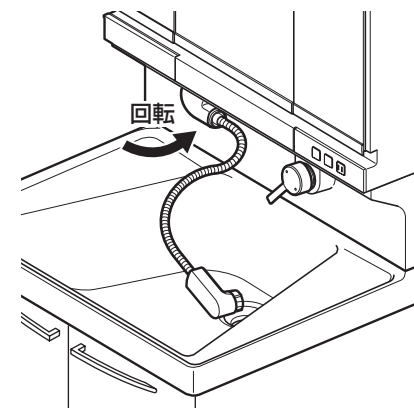
4. レバーハンドルを上げたまま左側いっぱい回す。



5. スパウトを回転させて、ハンドシャワーを全部引き出す。

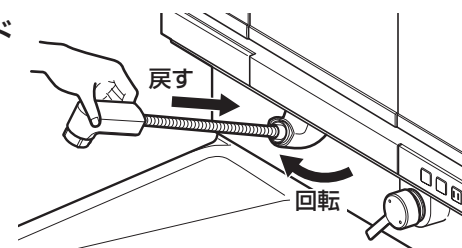


6. ハンドシャワーを全部引き出したままスパウトを回転させて元に戻す。

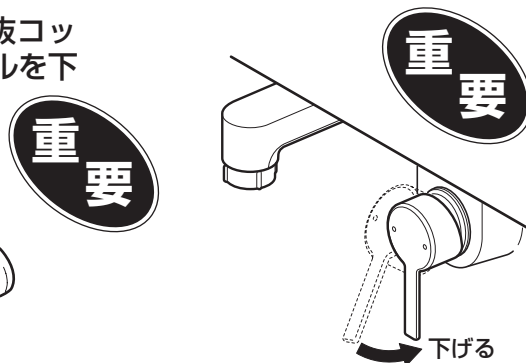
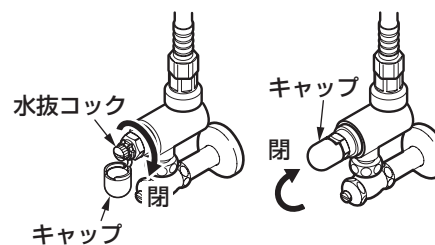


7. ハンドシャワーを洗面器の底まで下げて水をよく切る。

8. スパウトを回転させて、ハンドシャワーを元の状態に戻す。



9. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを下げる。(水が出ない状態)



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。